

# ふじみ野

No.45

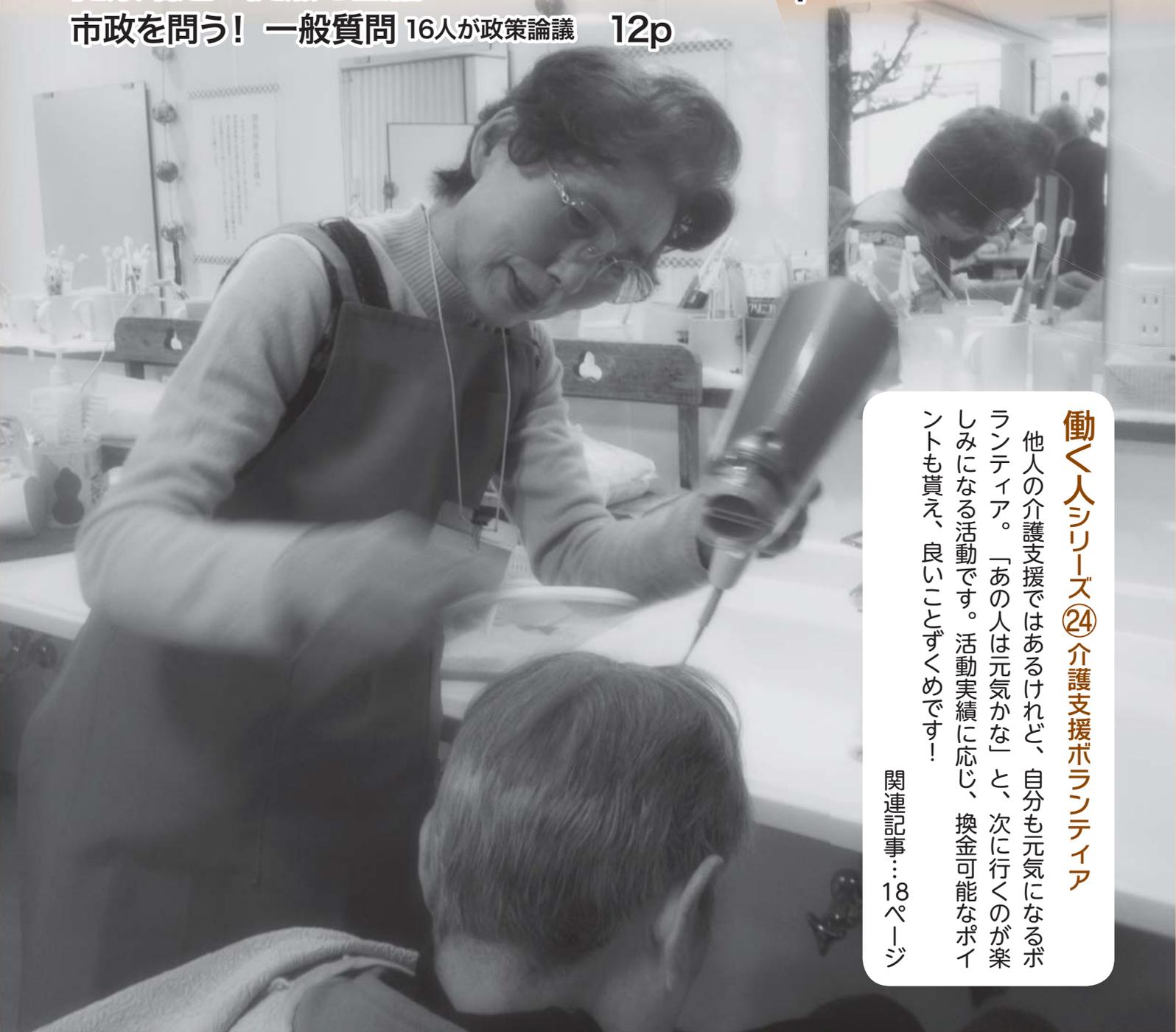
H29.5.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

## CONTENTS

## 市議会だより

- 次の10年、あらたなまちは、  
みえてきたか!?** 平成29年度予算案を審議、可決 2p
- 地域探訪** 旧大井村役場 7p
- 編集委員が直撃インタビュー** 8p
- 健康増進の拠点を整備** スポーツゾーン工事設計業務 11p
- 市政を問う! 一般質問** 16人が政策論議 12p



**働く人シリーズ②④ 介護支援ボランティア**  
他人の介護支援ではあるけれど、自分も元気になるボランティア。「あの人は元気かな」と、次に行くのが楽しみになる活動です。活動実績に応じ、換金可能なポイントも貰え、良いことづくめです!

関連記事: 18ページ

3月定例会では、市長提出議案43件を審議し、すべて可決成立しました。新年度一般会計予算は約379億2千万円で、昨年度を約12億円上回り合併後最高額となりました。審議は、市長施政方針、提

出議案に対する会派別総括質疑に加え、3つの各常任委員会で議員1人当たり90分を上限とする質疑が繰り広げられました。

# 次の10年、あらたなまちは、みえてきたか!?



環境学習館えこらぼ

今年度は合併後に定めた総合振興計画の最終年度であることから、新年度の予算は残された課題に取り組むとともに、次の10年のまちづくりをいかに展望するかが問われる審議となった。また、合併による優遇期間の終了を踏まえ、財政運営の持続可能性も課題となった。

## 平成29年度一般会計予算

### コンパクトシティに 適度な自転車空間

自転車の安全な利用の促進に関する条例が昨年の第3回定例会で成立したの続き、自転車ネットワーク計画を策定するねらいは。

本市ではコンパクトな市街地の中に鉄道駅商業施設、保育施設などが整備されていることから、気軽で便利、またエコな乗り物として多くの市民が自転車を利用して

こうした地域の特性を踏まえ、安全で快適な自転車通行空間を効果的に整備するための計画を策定する。特に公共施設

商業施設周辺など自転車利用の多い区間などを抽出し、歩道や自転車走行指導帯の設置、路面標示などで安全対策と共に自転車通行環境の整備をより強力に推進する。

### 子どもの貧困対策に力を

子どもの貧困対策推進計画の策定が計上されているが、なかなか見えにくいと言われる子どもの貧困対策にいかに取り組んでいくのか。

国の調査によれば、平成24年には子どもの約6人に1人、ひとり親家庭では2人に1人が、全国の平均的な所得の半分

### 空き家対策をどのように進めるか

空き家対策の今後のスケジュールは。年度当初に空き家バ

ンクを開設し、空き家の利用を希望する人に情報を提供する。6月頃までに空家等対策協議会を設置し、計画を策定する。その他空き家に関するデータベースの整理、実態調査を継続するとともに、周辺の生活環境に深刻な影響を与える特定空き家に対する対応も行っていく。

今後は都市政策部建築課が所管する。期待できる効果は。

空き家バンクの運営などで建築関連団体と連携しやすいこと、市の建築技師の円滑な活用が可能となること、住宅問題に対する窓口が一本化できることが挙げられる。空き家対策は防犯上の観点に加えて、総合的な住宅政策として位置づけられる。

### トイレ改修の進捗

学校施設管理事業でトイレ改修の進捗状況及び災害時の避難所となる体育館のトイレ改修は。床のドライフロア化

### 開かれた学校へ

地域協働学校が始まるが、どのような方向を目指すしていくのか。

地域協働学校すなわちコミュニティ・スクールは、学校と地域住民、保護者が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組みを言う。学校の運営方針や教職員の人事について話し合い、教育委員会に意見を述べる権限を持つ学校運営協議会を設置する。その場合、すでに各

### 行政組織条例の一部改正

学校にあるPTA、学校応援団、おやじの会、育成会などと調整を図り、協議の場としていく方法を選択している。具体的には小学校2校をモデル校に指定することから始めていく。

組織の改正が提案されたが、この意図するところは何か。

新たな組織として「子ども・元気健康部」を設置し、優先的に取り組んできた子育て支援に関する取り組みを充実させる。妊娠、出産から子育て全般にわたる切れ目のない支援を進める。また、市民との協働によるまちづくり推進のため、「市民活動推進部」を創設する。

平成29年度 一般会計予算 379億2475万円 前年度比 11億9839万円増

収入	主なもの	支出
市税 159億7943万円 所得・土地・家屋・たばこ等に対する税 前年度比 3億5705万円増	人件費 52億6671万円 職員の給与など 前年度比 2億2848万円減	
地方消費税交付金 14億円 消費税の市への割り当て分 前年度比 1億円減	扶助費 100億4110万円 生活援助に要する経費 前年度比 3億457万円増	
地方交付税 35億円 国からもらうお金 前年度比 2億円減	公債費 37億6537万円 借入れの返済 前年度比 2億5846万円増	
繰入金 13億1274万円 基金からの繰り入れ 前年度比 2億6649万円減	普通建設事業費 42億8962万円 建設に関する費用 前年度比 10億3862万円増	
建設等に係る事業債 26億2590万円 建設に関する借入れ 前年度比 11億6990万円増	繰出金 29億9812万円 特別会計への繰り出し 前年度比 2億2223万円増	

(1万円未満切捨て)

当初予算では、引き続き実施される待機児童対策のほか、旧福岡高校の跡地整備や大井総合体育館を中心としたスポーツゾーンの再整備といった市民の健康づくり施策、そして市内循環ワゴンの本格運行などが計上されました。合併による恩恵の終了を見据えつつも、あらゆる世代が安心して住み続けられるまちづくりに向けた予算編成となっています。

## 平成29年度一般会計 予算案の特徴



体験学習講座の様子

◆施政方針に対する質疑  
青 藍 会 大 築 守 議員  
日本共産党 足立志津子議員  
公 明 党 伊藤美枝子議員  
民進無所属の会 民部 佳代議員

◆議案に対する質疑  
青 藍 会 有 山 茂 議員  
日本共産党 新井 光男議員  
公 明 党 堀 口 修 一 議員  
民進無所属の会 鈴木啓太郎議員

**防災**

**広域での防災対策**

**防災訓練事業**

2市1町合同で入間東部地区総合防災訓練が実施されます。異なる市町でも生活圏が共通する地域について、避難所を共同して開設する初の取り組みも行われます。

**問** 今回の合同防災訓練の内容は。  
**答** 入間東部地区合同防災訓練を11月12日(日)に2市1町の合同で実施する。

富士見市立勝瀬小学校、ふじみ野市立大井小学校、西原小学校を予定している。

平成8年に締結した災害時応援協定の中で避難所の開設を近隣市町で協力し合うという合意があり、それを具現化した訓練となっている。



平成 22 年に行われた訓練の様子

**福祉**

**誰もが安心して学べる機会を**

**障がい者地域生活支援事業**

全身性障がい者に対し、通学を支える介護者が派遣されます。

**問** 事業の経緯は。  
**答** 全身性障がい者が、施設に通所や入所する場合のサービスはあるものの、学校へ通う際の支援制度がなかった。今回市内在住の全身性障がい者が大学に入学するにあたり、介護者を派遣するための補助を行っていく。

**問** 大学入学を目指す障がい者が増えていると言われている。支援の考えは。  
**答** 障害者総合支援法にあるとおり、障がいの有無に関係なく、誰もが差別なく暮らせる共生社会を築いていくという観点から支援を行っていく。



本人を交えた介助の打ち合わせ

**まちづくり**

**地域資源の活用を**

**空家対策事業**

平成29年4月1日、空家等対策の推進に関する条例が施行されました。市では、それを受けて、空き家バンクなどを活用し、さらなる対策が進められます。

**問** 具体的にどのような事業を行っていくのか。  
**答** 空き家バンク等を活用し、宅地建物取引業協会とも協定を締結する予定。関係団体と連携し、空き家対策全般に取り組みていきたい。

**問** どのように周知・啓発を図るのか。  
**答** 平成29年度の固定資産税の納税通知書の中に空き家バンクやシルバークリスタルの活用等の情報提供のチラシを同封し周知したい。

また、担当課の変更に ついては、市報や庁舎内の案内板等でも周知していく予定である。



**福祉**

**子どもたちに希望あふれる人生を**

**福祉総合支援事業**

子どもの6人に1人が貧困と言われる昨今。貧困の連鎖を断ち切るための取り組みが進められます。

**問** 学習支援の課題は。  
**答** 全国的に、福祉部門と教育委員会との連携不足が指摘されている。本

来、支援を必要とする子どもたちの利用につながりづらい現状があり、周知方法や開催場所、開催回数を見直していきたい。



ふじみの国際交流センターによる日本語教室

**まちづくり**

**安全な自転車利用を**

**交通安全推進事業**

埼玉県西部地区で初となる自転車ネットワーク計画が策定されます。2市1町の連携を図り、自転車利用者などの安全を確保し、必要な施策が展開されます。

**問** 自転車ネットワークを構築する上で、市内のどのような主要地点を結ぶのか。  
**答** いや手法の検討状況は。2市1町は生活圏が密接な関係にあり、警察署の管轄も同じである。

**問** 駅等の公共施設、保育所、商業施設など自転車の利用が多い場所を考えている。  
**答** 行政でネットワークが分断されることがないよう、富士見市と三芳町にも計画に携わるように協力を求めている。

**子育て**  
**妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援を**  
**子育て支援センター運営事業**

母子保健や育児に関する様々な悩みに円滑に対応するための支援が行われます。



**問** 子育て世代包括支援センターの特徴は。  
**答** 妊娠から子育て期に渡るまで、地域の特長に応じて専門的な見から切れ目のない支援を行うこと、ワンストップで相談ができること、地域の様々な関係機関と連携

することが基準として挙げられている。

**問** 子育てコンシェルジュ事業など、これまでの子育て支援センターとの具体的な違いは。  
**答** 妊産婦の支援プランやカルテ等の作成、保健師・助産師による産前産後のケア等が新たに加わることとなる。



自転車走行指導帯

## ICT を活用して情報公開推進、業務効率化、議会活性化

### タブレット端末の導入

本市議会において、ペーパーレス化による経費削減、議会運営の充実、議会の見える化を目的としてタブレット端末が導入されます。

これまで議会では、議案、参考書類、連絡業務などの全てが紙媒体で運営されており、その量は大量で、紙、印刷等のコスト、製本、分類分配などの人件費が課題となっていました。

そこで、議会のペーパーレス化を進めることで、これらの経費削減を図ることを目指します。タブレット端末とクラウドサービス型の文書共有ソフトウェアを活用し、紙媒体に比べての利便性の低下も最小限に抑えつつ効率的な議会運営を図っていくことを予定しています。

また、タブレット端末を利用することで、各種資料、データへのアクセス性が向上し、議会運営の充実にもつながるほか、市民への説明に用いることができるなど、議会の見える化という副次的効果もあると考えています。

### 議会のインターネット公開

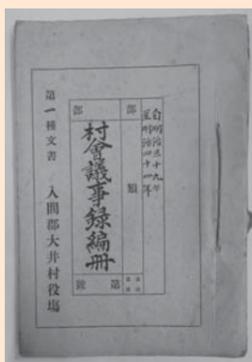
タブレット導入後の次のテーマは、議会のインターネット公開です。

議会には本会議、委員会など様々な会議がありますが、まずは本会議のインターネット公開、具体的には、You Tube を利用した動画配信について検討を進めています。



タブレット 端末研修会の様子

途中がおもしろい！  
舟運と陸路の途中下車推進事業  
今年度、旧大井村役場庁舎が多目的なイベントスペースとして改修され、賑わいの創出と収益を見込む拠点として整備されます。



明治時代の村議会議録

**旧大井村役場**  
施工…1937（昭和12）年5月  
設計者…北村甲子之助（埼玉県蕨町）  
施工者…三澤良作（大井村）  
鹿戸安太郎（川越市）  
川越街道沿いに建てられた木造2階建て庁舎。飾りの少ないシンプルな和洋折衷なつくりと窓が多く明るい雰囲気特徴的な埼玉県内で現存する唯一の木造庁舎です。2002（平成14）年に国の登録有形文化財として登録されました。

### 地域探訪

自転車でも行ける地域の宝  
魅力溢れるモダン建築

編集委員が訪ねました

#### 【旧大井村役場の歴史】

- 昭和12年 建物施工
- 昭和47年 新庁舎が亀久保1103番地1に建てられ役場機能に移る
- 昭和48年 東入間警察署として短期間利用
- 昭和49年 大井小学校の特別教室として使用
- 昭和52年 文化財収蔵庫・埋蔵文化財整理室として平成13年まで使用される
- 平成14年 国の登録有形文化財に登録される

出典：旧大井村役場庁舎パンフレット

旧大井村役場外観



# 平成 29 年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決



福岡放課後児童クラブ

**賛成** 待機児童対策を積極的に進めるべき  
青藍会 大築守 議員

福祉施策の充実やスポーツ関連施設の整備を含め、昨年度より約 12 億円多い約 379 億円の予算である。

平成 30 年度の認可保育園、小規模保育園各 1 園の開園、幼稚園 1 園の認定こども園への移行等の費用も計上され、積極的な待機児童対策が盛り込まれている。

また、三角、西原、亀久保放課後児童クラブの整備関連費が盛り込まれている。

大井小学校、元福小学校の大規模改修工事、花の木中学校のトイレ改修関連費も予算化されている。その他課題への対応が適切になされている。

**反対** 将来に生かされる基金の使い方を  
日本共産党 伊藤初美 議員

市民からの税収が、前年比で 3 億円も増えている。基金は積み立てるだけでなく、社会保障、教育、子育て支援など、貧困と格差の是正に活用すれば、地域経済の好循環に繋がる。

144 人もいる保育所入所保留児童のための保育所整備や保育士確保の緊急対策を実施することが子育てで応援のまちである。また、空家等対策の推進に関する条例が制定されたが、55 万円の予算では本気度が見られない。リフォーム助成などいいものを長く使う住宅政策が必要だ。

**賛成** 子ども優先のまちづくりを評価  
民進無所属の会 民部佳代 議員

人口増、新築住宅増にともなう市税の増加という市の優位性を活かし、今後を見据えて予算に反映している。特に、子ども優先のまちづくりは生産年齢人口を呼び込み、全ての世代に利益をもたらすものと評価する。

待機児童問題も市は独自に家庭保育室に通う子の保育料補助を行っており、認可保育園に入れにくいからといって経済的負担が大きくなるわけではない。表面上の数字だけみて不安をあおることのないよう市民によく説明すべきだ。

**賛成** 未来に向けた予算編成  
公明党 堀口修一 議員

本予算はふじみ野市の未来をも決する重要な予算である。そして、合併による恩恵が終了することなど、今後予想される厳しい財政状況を見据えて慎重な財政運営が必要である。

また、施策の柱となる子ども優先のまちづくりが反映された予算である。合併後 12 年、その特例による恩恵を活用しつつ、1 つの市としての基盤を固めつつあり、いよいよ文化・スポーツといった市民が心豊かに希望を持って歩みを進めるための施策が、本格的に反映された予算であることを大いに評価する。

**賛成** 子育て世代の目線に立った支援強化を  
無所属 島田典朗 議員

本市は年少人口の増加が続いているが、これに伴い、保育ニーズも高まり、144 人の入所保留児童、うち 25 人の待機児童見込みが生じた。今回、認可保育園等の整備補助金が計上され、更なる保育環境の整備を期待する。ただし、過去の新園整備の際は、一部混乱が生じたこともあり、保育運営等巡回相談もあわせ、保育の質の向上に努められたい。

新たに始まる子育て世代包括支援センターとともに、子育て世代の目線に立った一層の支援強化を期待したい。

## 子育て世代包括支援センター



妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行ないます。

これまでは子育て期に対する支援が中心であったので、センターの開所によって、妊娠中から出産までの方々を幅広く支えていければと思います。妊娠中の方々にも気軽に立ち寄っていただき、先輩ママたちと交流してもらえそうな場所にしていきたいです。

 保健師の飯島さん  
(上野台子育て支援センターにて)

## 自転車ネットワーク計画

市内の道路は幅員の狭い区間が多いので、公共施設や商業施設などを結ぶ自転車ネットワークを構築します。

小さい子どももいますが、自転車はよく乗りますよ。新しく歩道を作ったり、広げたりしてほしいです。それに、歩道の植込みが根を張って、歩道がでこぼこしているところは直してほしいと思います。もっと自転車レーンも増やしてほしいです。

 外谷さん  
(上福岡公民館にて)



## 編集委員が直撃インタビュー

## 平成29年度予算

## あなたの意見を聞かせてください。

平成29年度に実施される各種事業について、編集委員がまちの声を聞かせていただきました。防災、福祉、まちづくりについて各人の思いや関心をお寄せいただき、大変参考になりました。

### 全身性障害者介護人派遣事業

重い障がいがあっても、大学で学びたいという方に介護者を派遣する事業です。

4月から文京学院大学に通っています。皆さんからのご支援を受けて、安心して勉強することができます。将来は福祉の資格を得て仕事をしたいと考えています。

 北野在住 藤森さん



### 子どもの生活支援

ふじみの国際交流センターでは、外国にルーツを持つ子どもたちに日本語を教え、自活できる能力を身につけさせるべく活動しています。



日本語が話せないまま日本に連れてこられたり、日本国籍があっても読み書きができない子もいたりします。日本に住み続ける権利は持っており、生活保護に頼らざるを得ない家庭も少なくありません。制度の狭間にいる彼らが、貧困の連鎖に陥らないよう支援を続けています。

 ふじみの国際交流センターのみなさん

### 空き家対策

空き家の未然防止や有効活用について、不動産取引業者等と連携した新しい取り組みが始まります。

費用はかかるが、不動産取引業者と連携することで、市が借り上げ、低所得者向けに貸し出すことが可能だと思います。

また、公園や防災空地として提供してもらうことで、固定資産税を減免するなどの取り組みがあると良いと思います。

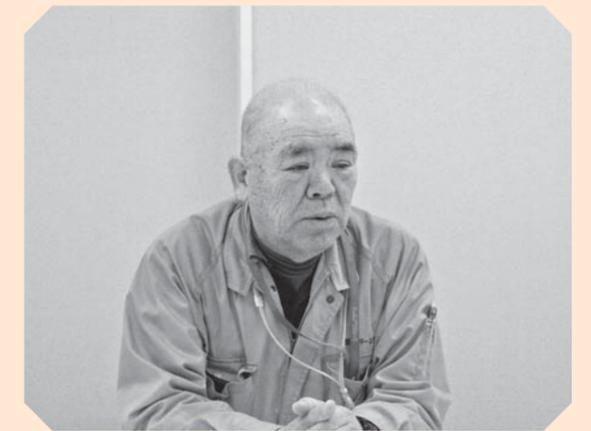
空き家になってしまう理由はそれぞれあると思いますが、所有者の事情をうまくみとって、未然防止と有効活用を図ってほしいです。

 駒西在住 山本さん



### 入間東部地区総合防災訓練

今年の防災訓練では、初めて行政境での避難所設営訓練が実施されます。



これまで児童は勝瀬小学校に行き、親は東原小学校の訓練に参加するという状態が続いていました。発災時には、親子ともども勝瀬小学校に避難することになるはずなので、実態に即した形で訓練が実施されるのは望ましいと思います。

これからも、富士見市、ふじみ野市という枠に捉われず、地域という観点で行政を進めてほしいです。

 みほの町会の山辺さん

### 健康増進の拠点を整備

スポーツゾーン工事設計業務  
補正額 2577万4千円



大井総合体育館周辺がスポーツゾーンとして再整備されます。体育館のバリアフリー化をはじめ、弓道場がアーチェリーもできる施設に生まれ変わります。

#### ●主な質疑

- 問 弓道場用地取得費が計上されている理由は。
- 答 大井総合体育館との一体的な施設利用が図れるので、体育館の隣地に弓道場の建設をする。
- 問 平成28年度の弓道場の利用人数は。
- 答 平成29年1月末までの利用人数は、大井弓道場が2307人、上福岡弓道場が5044人となっている。
- 問 弓道場の利用は、個人でも申し込みが可能か。
- 答 個人でも団体でも申し込みができる。
- 問 弓道場の工事とテニスコートの改修工事の今後のスケジュールは。
- 答 平成29年7月までに設計を終了させ、10月を目途に両工事が開始できるように準備を進めていきたい。

各常任委員会での質疑をまとめてお知らせします。

### 条例改正 賛成多数で可決

## 利便性の向上を 目指して

### ふじみ野市行政組織条例の一部改正

市民ニーズへの適切な対応及び直面する行政課題の解決を図ることを目的として、行政組織の改編が行われます。

議会上程する検討はしたのか。

●主な質疑  
問 こども・元気健康部の所管は、子育て支援に関することや健康増進、保健衛生に関する事など、業務量が多いが、1つにした理由は。

答 いくつも案を考えたが、どれがベストか検討に時間を要し、3月議会への上程となった。

問 本市の規模から考えると、1つの部で違った側面の事務を行う事もやむを得ないと考える。子育て優先ということで部の編成を考えた。元気・健康に関する取り組みは、全庁的な共通認識を持っており、連携についての心配はない。

問 市民への周知や予算への反映、庁舎レイアウトを考えると時間的な余裕がない。12月



新設されたこども・元気健康部

### 平成28年度 一般会計補正予算(第6号) 賛成多数で可決

### 観光資源としての活用を

旧福田屋・旧大井村役場改修事業  
補正額1億1117万7千円

地方創生拠点整備交付金を活用し、歴史的建造物である回漕問屋福田屋と旧大井村役場庁舎を改修し、観光地域づくりが行われます。

#### ●主な質疑

- 問 旧福田屋改修と旧大井村役場改修工事については、地方創生拠点整備交付金を活用しての改修工事と認識しているか。
- 答 地方創生拠点整備交付金が採択され、平成28年度予算を繰り越し、平成29年度の工事完成となる。旧福田屋は3階建ての構造強化を図り、旧大井村役場は、室内工事、男女別のトイレの設置や台所改修を行う。
- 問 観光地域づくりを行う上で考えていることは。
- 答 旧福田屋は、改修工事完了後に母屋を利用し、藍染めや機織り、竹細工やほうきづくりなどの体験学習や演奏会の実施、また物品販売のスペースも設け集客を図る。旧大井村役場は、改修により利便性を高め、さまざまな事業を行いたい。



旧大井村役場内部



旧福田屋の外観

#### 提出議案と審議結果

◎全賛賛成 ○賛成多数 ・否決

◎平成29年度予算

◎一般会計

◎国民健康保険特別会計

◎介護保険特別会計

◎後期高齢者医療事業特別会計

◎水道事業会計

◎平成28年度補正予算

◎一般会計(第6号)

◎一般会計(第7号)

◎国民健康保険特別会計(第3号)

◎介護保険特別会計(第4号)

◎後期高齢者医療事業特別会計(第3号)

◎水道事業会計(第1号)

◎水道事業会計(第2号)

◎条例の制定

◎指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等を定める条例

◎広域ごみ処理施設等検討委員会条例を廃止する条例

◎高齢者及び障害者居室等整備資金貸付条例を廃止する条例

◎条例の一部改正

◎行政組織条例の一部改正

◎手数料条例の一部改正

◎職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

◎職員の育児休業等に関する条例の一部改正

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

◎市税条例等の一部改正

◎地域自立支援協議会条例の一部改正

◎在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正

◎市立放課後児童クラブ条例の一部改正

◎ねたがり老人介護手当支給条例の一部改正

◎市立デイサービスセンター条例の一部改正

◎介護保険条例の一部改正

◎地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部改正

◎市営住宅条例の一部改正

◎水道事業利益及び資本剰余金の処分に係る条例の一部改正

◎市議会委員会条例の一部改正

◎道路線の変更(1件)

◎道路線の認定(8件)

◎三芳町の公の施設をふじみ野市の住民の利用に供することに係る協議

◎市立放課後児童クラブの指定管理者の指定

◎国に子ども医療費助成制度を求める意見書

◎大型物流倉庫の実態把握と防火対策の充実を求める意見書

◎共謀罪の創設に反対する意見書

◎核兵器禁止条約の制定交渉において政府が積極的な役割を果たすよう求める意見書

◎少人数学級の推進を求める意見書

◎農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

◎国民健康保険の財政基盤の強化を求める意見書

◎市立大井総合体育館大規模改修、武道館大規模改修及び耐震補強工事請負契約の締結

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月下旬掲載予定)

### より魅力的な公共施設を目指して

島田典朗 議員

**問** 公民館や図書館のあり方は。

**答** 市民ニーズや利用状況を踏まえながら、より効果的なあり方について検討していきたい。限られた財源の中で、多様化する市民ニーズに対応できるような複合化の検討は必要であると考えている。

**問** 公共サービス拠点である市役所本庁舎周辺及び大井総合支所周辺の今後の整備方針は。

**答** 市民生活を支える重要な公共サービスの拠点として、公共サービス機能の充実に努めていく。

**問** 市民ニーズに応じ、専門性を高めた公共施設を整備し、より人が集まる公共サービス拠点へと発展させては。



**答** 学校の適正規模の確保や通学距離、将来的な人口推計による児童生徒数の把握、大規模開発の状況等を踏まえつつ、旧市町境の入り組んだ通学区の見直しも視野に入れながら検討を重ねる必要がある。

### 誰もが通いやすい学区へ

**問** 市中心部にある学校へは児童生徒数が集中しやすく、周辺部の

学校は少なくなりやすい。また、旧市町境の通学区にも課題がある。全市的な通学区の見直しの考えは。

### 子どもの読書推進条例の制定は

西 和彦 議員

**問** 子どもの読書離れへの対応として、子ども読書活動推進計画を策定し取り組みを進めているが、この読書活動をより推進する立場から、行政の責務等を定めた読書推進条例の制定は。

**答** 現在、子ども読書活動推進計画に基づき各関係機関などと連携しその推進に向けて全力を注いでいる。条例については、他自治体の事例などを参考に制定に向けた調査・研究をしたい。

要となってくる県道ふじみ野朝霞線との交差点部分の検討状況は。

**答** 交差点の形状や信号機、横断歩道の位置などが県及び県警とほぼ合意できたので、今後詳細設計に入っていくたい。

### (仮称) 苗間みほの公園の整備は

**問** 県教職員住宅も撤去され用地の掘削や擁壁の取り壊しなどの工事が始まったが、公園整備の状況と南側交差点改良工事の内容は。



(仮称) 苗間みほの公園予定地

### 上沢勝瀬通り線の交差点整備は

**問** 整備事業の中で県及び県警との調整が必

### 待機児童ゼロを目指して

山田敏夫 議員

**問** 子育て支援について、過去3年間における定員枠の拡大数と新年度の待機児童の見込み、そして今後の対策は。

**答** 3年の間に約500人分の定員の枠を拡げることができた。国が定めた基準による待機児童数は、昨年より減少し、25人である。来年度も定員枠を拡大し、待機児童をゼロとする計画を立てている。

### 高齢者が住みやすいまちを

**問** 新年度から住民主体のボランティアなどによるサービスの提供を目指した新しい介護予防・生活支援サービス事業が始まる。掃除、洗濯、ゴミ出しなどの多様なサービスを実施するために、

### 火災に強い住宅・まちづくり

新井光男 議員

**問** 感震ブレイカーや火災報知器の普及は。

**答** 他市の調査で感震ブレイカーの応募率が低いと普及は難しい。火災報知器は、火災予防キャンペーンの際に点検・交換を呼びかける。

### 東京オリンピック・パラリンピックに市民参加を

**問** 競技者人口の底上

### 全国学力テストの結果の分析と今後の対策

渡辺 大 議員

**問** 全国学力テストでの全国平均を目指すなど、学力向上についての基本的な考え方は。

**答** 教育は、学びの種を蒔いてその成長を見守って長い時間を掛けて多角的な成長を促す

### 粗大ごみ等の有料化

粗大ごみの処理に年間約1億2000万円がかかる。できるだけ早く有料化すべき。

**問** 今年度策定の一般廃棄物処理基本計画の中で検討する。

**答** 本市の事業系ごみ処理手数料は、10kgあ

### 歴史・文化遺産を活かしたまちづくり

**問** 市民とともに歩み魅力あるまちづくりを目指して、近現代の観光資源の保存と活用を。

**答** 旧大井村役場は人が賑わう施設、回漕問屋福田屋は、展望と歴史景観が楽しめる伝統文化を体験できる拠点に整備する。

### 市役所第3庁舎の改善

社会福祉協議会事務所があるが、施設の建て替え方針は。

**答** 建て替え計画はない。

**問** 社会福祉協議会の意向は。

**答** 施設に関する要望はない。



ふじみ野市第3庁舎

### 子ども医療費の一部負担の導入は

子ども医療の適正受診に向け、一部負担や所得制限、窓口で明細書の交付をしては。

**答** 一部負担金の徴収は考えていない。医療費の軽減のために、ジェネリック医薬品の啓発等に努める。

### より利用しやすい就学援助制度に 床井紀範 議員

**問** 子どもの6人に1人が貧困の状態。現行の就学援助の認定基準の緩和をすべきではないか。

**答** 平成25年度の生活保護基準の1.3倍の所得額が援助対象で、現状で対処したい。

**問** 教育費負担の軽減のためには、入学準備金の支給時期の前倒し実施をすべきではないか。

**答** 例年6月が支給時期。前倒し実施する場合、所得情報の確認、支給方法、他自治体への転出入などが課題。先行事例があるので、国や近隣自治体の動きを注視し、総合的に検討していく。



### 子どもにも インフルエンザワクチン助成を 民部佳代 議員

**問** インフルエンザの実態は。

**答** 県の感染症発生動向調査によれば、14歳までの罹患者は全体の約7割を占めている。

**問** 高齢者にはワクチンの助成があるが、子どもにはない。子どもは2回接種が推奨されており、経済的な負担は大きい。市の助成を。

**答** 市は子ども優先のまちづくりを進めている。前向きに検討したい。



### 空き家を市で 受け入れては

**問** 立地上の問題で再建築できない空き家もあり、放置の原因になる。市で空き家の寄付を受け付けて防災空地等に活用しては。

**答** 除却費用を公費で負担するなど課題はあるが、庁内検討会議や空家等対策協議会での検討にゆだねたい。

### 音楽で魅力ある まちづくり

**問** 市には多くの音楽家が住んでいるが、活躍の場が市外だ。コンサート出演や音楽指導を依頼するにも、市民には情報がない。人材の活用の仕組みづくりを。

**答** 今年度は人材の発掘と組織化を目指していく。

**問** 文化振興計画などで音楽ホールの位置づけは。

**答** 大変難しい課題だが、文化振興計画の原案では文化芸術活動拠点の検討が求められている。

### 子育てふれあい 広場の拡充を

**問** 一時保育サービスの利用実績の現状は。

**答** 平成26年度が1429人、平成27年度が1233人、平成28年度（1月末）が932人となっている。

**問** 施設機能を拡充してはどうか。

**答** 定員増や預かり時間の延長を検討してはどうか。

**問** 利用時間が夜8時まで、1時間当たりの定員は10人までとなっている。変更の予定はないか。

**答** 施設機能を拡充してはどうか。

### 東京オリンピック・ パラリンピックに向けて 加藤恵一 議員

**問** 東京2020参加プログラムに参加しては。

**答** 参画プログラムには、公認プログラムと応援プログラムがある。今後、県が説明会等を開催する予定もあるので、その情報を確認しながら検討していく。

品に用いては。

**問** ドローン操縦体験・講習会について製造・販売を行っている企業に協力をいただけるよう打ち合わせを実施した。

今後モシティブロモーションの観点から返礼品の発掘に努める。

### 災害時マンホール トイレの活用

**問** 災害用マンホールトイレをイベントや防

### 保育所の待機児童対応 伊藤初美 議員

**問** 入所保留児童が144人もいる。年度途中の対応は。

**答** 各施設の空き状況を把握し、保育の必要性の優先度の高い順に受け入れていく。家庭保育室などの紹介もすすめていく。

### ひとり暮らし対象の 終活支援

**問** 生前から最期を準備できる制度創設や献



**問** 入所保留児童が144人もいる。年度途中の対応は。

**答** 各施設の空き状況を把握し、保育の必要性の優先度の高い順に受け入れていく。家庭保育室などの紹介もすすめていく。

**問** 生前から最期を準備できる制度創設や献

**答** 生前から最期を準備できる制度創設や献

### 三芳スマートICのフル化対策 塚越洋一 議員

**問** 大井中学校からふじみ野高校入口までの大型車すれ違い困難区

**問** 間整備の財源は。

**問** 約400mの線形改良の設計を実施して

### 一人一人に 行き届いた教育を

**問** 各種支援員の充実と処遇改善を。

**答** 各種研修会の開催など資質・能力の向上を図っている。支援員が達成感を味わいながら、継続して勤務できる環境を整え、処遇改善を図っていく。

**問** 各種支援員の充実と処遇改善を。

### 大井通信所は 安全な施設か

**問** 自衛隊大井通信所の任務を市民に周知する必要があるので、防衛省情報本部作成のパンフレットに「世界中からの電波を収集する日本の耳」と公開されているので、役割は広く発信されていると考える。

**問** 自衛隊大井通信所の任務を市民に周知する必要があるので、防衛省情報本部作成のパンフレットに「世界中からの電波を収集する日本の耳」と公開されているので、役割は広く発信されていると考える。



飛行中のドローン

**問** ドローン操縦体験をふるさと納税の返礼

**問** 災害用マンホールトイレをイベントや防

### 都市のイメージ戦略

谷 新一 議員

**問** 都市のイメージ戦略として、定点のライブカメラを設置して、ふじみ野市の「今」を発信する考えは。

**答** 他市では市内3カ所にライブカメラを設置し、ホームページで見られるようにして好評とのこと。ただしプライバシー保護の観点から一定の配慮が必要である。

### 高齢者世帯の防火対策

**問** 消防と高齢者福祉との情報共有、防火訪問等の連携は。

**答** 防火等の配慮が必要な一人暮らしの高齢者に対しては、火災報知器・自動消火器等の給付制度があり、心疾患等の疾病がある一人暮らしの方については、消防署への緊急通報システム

を貸与している。

なお、消防では春と秋に各100件程度の防火診断を実施しているが、今後は介護従事者等にも、高齢者宅を訪問する機会に居住環境の確認をお願いするなど、連携を図っていく。

### 効率的な道路修繕を

**問** 道路工事と地下埋設工事との連携は。

**答** 毎年5月に道路占有者会議を開催して、埋設工事時期と道路本復旧時期等の調整を図っている。

### 高齢者を支える地域づくりを

小林憲人 議員

**問** 地域支援コーディネーターの育成など、人的確保は今後どのように行っていくのか。

**答** 生活支援を行う団体と協議体を設け、ふさわしい人材の確保に努める。

### SNSを活用しごみ量削減を

**問** 本市は、1人あたりのごみ排出量が少な

い市、埼玉県内1位となった。今後もごみ量削減を持続するため、清掃活動をSNSで共有し可視化するごみ拾いアプリを活用しては。

**答** ごみのないまちの推進に役立つツールと考える。今後、他市の事例を参考に研究する。

### 緑の美しいまちなみを

**問** 市の計画では、緑の空間のネットワーク化がうたわれているが実現していない。街路

樹等に個人が出資して植樹を行う、マイ・ツリー制度を導入しては。  
**答** 緑を増やす取り組みとして、多くの方が積極的に参加するマイ・ツリー制度は有効。検討する。  
**命の大切さが伝わる取り組みを**  
**問** 命の大切さを実感する教育として、赤ちゃんふれあい事業を中学生に実施する地方公共団体が増えている。実施の検討を。  
**答** 安全面への十分な配慮が必要。今後、研究を進めつつ、現在行っている様々な体験の充実に努めていく。

### 交通安全対策

川畑京子 議員

**問** 通学路の危険箇所のカラー表示や標識の設置等、対策を工夫して進めるべきでは。

**答** グリーンベルトが可能な箇所は設置を進めながら、駒西小学校周辺地域をETC2.0

の相互通信・データ蓄積機能を活用し、路面を立体的に見せるイメージハンブやポストコーンなどの手法により、通学路の安全を確保する取り組みを検討している。

**問** 高齢者の転倒防止のため、歩道のバリアフリー化などの安全対策を。

**答** ケヤキやサクラといった街路樹の根の影響により、歩道の隆起した段差の解消を行った。引き続き高齢者に配慮した歩行空間の安全に努めていく。

### 子どもの貧困対策

**問** こども食堂に対しての支援・検討は。

**答** 本年実施する子ども貧困対策推進計画策定におけるアンケートにおいて、子どもの食事に関する調査を予定している。調査結果を踏まえ、他の地域での取り組みを参考に検討していく。

### 第二次情報化基本計画の進捗と管理

島田和泉 議員

**問** 管理職、職員のICT教育について年次計画などを基に取り組みや効果などはどのように評価しているのか。

**答** 初任者研修、課長相当職対象の集合研修、eラーニング研修、全職員対象の情報セキュリティセルフチェックなどを実施し、研修後に効果測定を行っている。

### 産業分野等におけるICT活用を

**問** 地域経済分析システム（REAS）の有効活用を。

**答** 国が提供する多種多様なビッグデータで地方自治体の効果的な政策立案、実行、検証を支援するものだが、具体的な利用はできていない。今後研究し利用したい。

### 学校運営におけるICT導入効果

**問** 校務支援システムで実現の必要性が高い機能は。

**答** 出席簿、通知表、指導要録、備品管理等のシステム化を検討。諸表簿等を容易に作成できる環境が業務負担軽減につながると考え

### 防災・減災へのICT活用を

**問** 自主防災組織の設置推進と情報伝達の確立を。

**答** 各自治組織に1つの自主防災組織を設置しているが、自治組織の加入率低下で防災力も低下が危惧され改善を検討したい。

### 障がい者相談支援の充実を進める

鈴木啓太郎 議員

**問** 障がいを持つ方からの相談支援の体制を充実していくことが急務となっている。本市の状況は。

**答** 大井総合福祉センター内の相談支援センターと就労支援センターを統合し、効率的な

相談を実施するが、最近の相談内容は多岐にわたり、本人だけでなく育児、貧困など世帯の複合的なニーズを的確に捉える必要がある。このため多機関の包括的支援を構築することが求められている。

### 介護予防を進めよう

**問** 介護保険の総合支援事業では、介護予防の役割が大きい。どのような方針で臨むか。

**答** 介護予防を継続するには、市民の自主的な取り組みが必要であり、介護サポーターとなつて市民が活躍できる地域ぐるみの活動を推進する。

### 大学、企業と連携するまち

**問** 大学、高校との包括的連携協定が進んでいる。何を指すのか。

**答** 協定を結ぶ大学等とは、文化・スポーツ、食育などそれぞれの特色を生かした取り組みを地域で展開するため、定期的な協議を行う。また学生からは共同事業で社会人としての心構えを学んだ等の感想をいただいている。

### お出かけサポータータクシー改善

足立志津子 議員

**問** 市外病院までの運行は2市1町で協議を行っているとは。

**答** 改善は、実証運行をもとに検討していく。

**問** 市外病院までの運行を市直営にして、協議会は活性化の議論に集中を。

**答** 運行は直営でも協議会でも変わりはない。民業を圧迫する無料化は考えない。

### 小規模事業者の受注機会拡大を

**問** 業者の偏りを防ぎ、小規模事業者の受注機会拡大のため、発注方法の改善を。

**答** 緊急対応の仕事が

### 市独自の住宅リフォーム助成制度

**問** 補助額に対して経済効果が非常に大きい制度と考える。耐震補強助成と組み合わせるなど市独自の助成制度の創設を。

**答** 特定業種に限る補助制度は考えていない。



福岡中央公園での桜の植樹

編集委員がインタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

# 介護支援ボランティアさんに伺いました

- Q** 始めたきっかけは。  
**A** もともと介護のボランティアをしており、約2年前に介護支援ボランティア制度が始まり、自然の流れで始めました。
- Q** ボランティアのやりがいは。  
**A** 自分のためにボランティアをやっている面があります。施設まで徒歩で通うので歩く練習になるし、話し相手がいって認知症予防にもなります。また、ポイントがもらえるので、ちょっとした食事の贅沢ぜいたくに使っています。
- Q** 大変だと感じることは。  
**A** まったくないですね。手のかかる作業は専門のスタッフの方がやってくれますので、自分のできる作業を楽しんでやっています。
- Q** 市への要望は。  
**A** ボランティアの見学会や一日体験があると、やってみようと思う方が増えると思います。

- Q** 介護支援ボランティアに興味のある方に一言。  
**A** 「私にできる介護はない」と謙遜けんそんされる方がいますが、話し相手になることやお茶くみなど、支援できることがいくつもあるので、気楽に飛び込んでほしいです。



丸山 薫さん 片岡 法子さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
 市議会の議事録も見られます。  
 政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



3月定例会の傍聴者は67人でした。

**傍聴をお待ちしています**

次の定例会の  
 開会予定: **6月1日** 午前9:30~

請願締切予定: **5月22日** 午前10:00

市役所4階議場で開催します

## 議会広報常任委員会

- |     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 伊藤美枝子 | 副委員長 | 渡辺 大  |
| 委員  | 加藤 恵一 | 委員   | 鈴木啓太郎 |
| 委員  | 小林 憲人 | 委員   | 島田 典朗 |
| 委員  | 床井 紀範 |      |       |

## 表紙の題字を書いた人

大井東中 相田宜孝さん  
 (今年3月に卒業)



近くに江川緑道があって、ときどき散歩をしています。緑が身近にあって、四季を感じられるふじみ野市になって欲しいです。

## 編集後記

3月は、多くの職員が定年を迎え退職されるシーズンです。

40年もの長きに渡り「ふじみ野市を良くしたい!」と熱い情熱をもって取り組んでくださった皆さんに心の底から感謝します。

我々市議会もその思いを受け継ぎ、実施される施策は、かける費用に見合った効果が出ているか、バランスよく市民の声を聞き市政に反映できているか、ふじみ野市のために真に必要な施策はどんなものか。自らに、行政に、厳しく問いながら職務を全うしていく所存です。

議員の任期も半分の2年が経とうとしており折り返しです。残り2年、できる限りの改善を進め、税金を最大限有効に活用し、少しでも市民生活を向上できるように市議会としての機能を最大限発揮し職務を全うしていきます。(渡辺 大)